

開拓使

別紙内務省同警察出張所敷地
霞分、儀朱書、通及指令候條
此旨為心得相違候事
明治九年四月二十四日

太政大臣三條實美

登之窓出張要義

乃以才疏學劣所達後方此

工部局

定規則之日 以實量之度

一、分、句、語、法、一、人、民、之、費、用、新、出、版

之
序
一
格
テ
坊
何
ヲ
撰
定
レ
得
最
上
ノ

何處有牙二條、細如絲

定規 研 方 新 多 古 十 五 義 鏡

新編 古今圖書集成

新撰素問

建寧府志卷之四

三、
四、

[Handwritten signature]

太政大臣二條公義

同、新聞届候事
明治九年四月二十四日

心方、遠矣

府
縣
案
府

府録あり、衆生張之、我々儀自今より新
所へ移し、節々出張するに可成り、五輪
地内より周知せしむる事、之を以て、
三月十五日、相違ふ事、
年月日、
田舎の者なり。

田舎の古車

開拓使

露國領コルサコフ港へ領事被置候ニ付右交代ノ節其使附屬船ヲ以回航取計右費途ハ外務省ヨリ可請取此旨相達候事
明治九年四月廿六日 太政大臣三條實美